

平成30年度 下水道維持管理業務取組発表会
発表概要

所属 御笠川浄化センター
発表タイトル 御笠川浄化センターにおける燃料化事業への対応と今後の脱水污泥処理について
取組の目的 燃料化事業開始に対応した污泥処理施設に関する運転管理体制の構築を目指す。
取組内容 1 平成31年度の燃料化施設供用開始とこれに伴う溶融炉廃止を見据えた脱水污泥処理計画（運搬、処分、貯留）の策定。 2 燃料化事業に関連する業務の検討。 （1）燃料化事業の監督（モニタリング）業務 （2）燃料化施設に供給するユーティリティ（脱水污泥、消化ガス、水等）の管理業務 3 溶融炉施設の今後の取り扱いについて。 （2, 3については関係部署との協議を継続中）
取組成果・効果 脱水污泥処理は概ね当初の計画に沿って進捗しており、2月予定の燃料化施設の試運転に向けて準備を進めている。